

第11回中学生科学体験
 今回で11回目となる「中学生科学体験研修」に、市内11校から2年生21人が参加。茨城県つくば市にある宇宙航空研究開発機構（JAXA）や高エネルギー加速器研究機構（KEK）などを見学し、最先端の科学技術に対する知見を広げました。

同研修では、事前研修を4回実施したほか、1回の事後研修を経て、結果報告会を1月27日に江刺総合支所で開催。生徒たちは、関係者や保護者など約60人を前に、今回の研



KEKでの説明に真剣に耳を傾ける生徒たち

市教育委員会では、市内中学生の科学に対する興味・関心や科学的知識・思考力などを向上させることを目的とした「中学生科学体験研修」を1月7日から9日までの3日間の日程で実施しました。今回は、その研修の様子をご紹介します。



市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下「ILC」計画）」について最新情報をお届けします

希望のひかり 第16回

義などについて説明。人工衛星や加速器、検出器の迫力や日本の技術力の高さに驚いたことなども報告しました。また、KEKの小野正明特別教授（本市出身）の講義では、科学の研究について「洞察力が必要」「信頼関係が成り立たなければ忍耐強く何かをすることはできない」「成し遂げたことは人類の知識となり、その業績は永遠に記憶される」などの話を聞いたことを紹介しました。

報告会の終わりに、生徒代表の小野寺優太さん（衣川中学校）は「科学に対する探究心、将来の夢の希望をつかむことができた」と力強くその成果を発表。生徒たちは、今後も科学に対する興味を深め、さらに勉強していこうと誓い合っていました。

interview 研修に参加して



前沢中学校長
伊東 健 団長

この研修は、子どもたちの知的好奇心を誘発する素晴らしい研修だったと感じています。昨年、ILCの建設候補地が北上山地に一本化されたこともあり、将来、子どもたちが何らかの形でILCに関わることができればと思います。



江刺第一中学校2年
三浦 大輝さん

KEKの加速器がたった数年の改良で40倍の性能になるということに驚きました。ILCによって新しい技術が発展することは素晴らしいことだと思います。将来は、JAXAやKEKなどのような、国に貢献できる仕事に就きたいです。



東水沢中学校2年
大坂下 宗さん

難しい内容でしたが、非常に有意義な研修でした。ILCに關係のあるKEKの加速器が一番印象に残っています。ILCが実現すれば、まちや科学の発展につながります。ILCに関わるよう勉強を頑張りたいです。

本市におけるILC関連事業
 中学生科学体験研修のほか、1月30日には市内のホテルで開催された「地域産業交流会＆みちのくイブニングサロン」で、ILCに関する講演会が行われました。（同イベントの内容は、17ページの市政ズームインに掲載）

また、市内各地で職員を派遣しての出前講座を実施。市民の皆さんにILCの仕組みやその意義の理解を深めていただいています。

産業・教育・医療・文化など、幅広い分野に貢献するILC。実現に向け、さらに活動を広げていきましょう。



国民年金保険料の支払いは

お得な2年前納のご利用を

国民年金には、保険料をまとめて前払いすると割引になる前納制度があります。平成26年4月から、割引額がより大きくなる「2年前納」（口座振替）がスタート。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ＝関年金事務所（☎ 0191 ③ 4246）

「2年前納」を利用すると、毎月現金で納付する場合と比べ、2年間で14,000円程度の割引になります。前納を希望する人は、年金手帳、金融機関の通帳、金融機関届出印を持参し、2月末日までに金融機関または関年金事務所で手続きをしてください。

※割引額は、25年度の保険料による推計。2年前納の保険料額は、26年2月下旬の告示により確定する予定

市の国民年金窓口からの お知らせ



江刺総合支所
市民環境課 国民年金係
三浦 紀子 主任

国民年金保険料の納付は、口座振替が便利でお得です！

26年度の国民年金保険料額や割引額は、本庁市民課（内線137）または各総合支所市民環境課の国民年金係までお問い合わせください。

祝 百歳おめでとう



花束を抱え喜びの表情を浮かべるフサさん（左）

市は、1月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

佐藤フサさん（水沢区字立町Ⅱは同区佐倉河に生まれ、18歳のころ故・善太郎さんと結婚。1男4女をもうけ、孫12人、ひ孫14人に恵まれました）。

和裁が得意で、夫が経営する佐善燃料店を手伝う傍ら、着物作りなどの依頼を受けていました。長男の堅次さんが「怒っているのを見たことが

ない」と言うほど穏やかな性格のフサさん。読書が大好きで、95歳ごろまでは図書館から借りた本を1日1冊読んでいました。「たくさん食べて、笑っていればいい」と長寿の秘訣を語り、元氣よく笑いました。

鈴木善三郎さん（江刺区愛宕字別当Ⅱは現住所地に生まれ、21歳でサツキさんと結婚。4男2女をもうけ、孫7人、ひ孫5人に恵まれました）。

家業の農業を継ぎ、朝から晩まで働きつめたという善三郎さん。平成3年までの20年間ほど、県合同庁舎の宿直も務めました。今でも身の回りのことは自分でするといふ善三郎さんは、早寝早起きが日課で、毎日三食しっかりと食べています。

市内外から家族や親戚約30人が集まり、盛大に祝福される中、「本当にありがとう」と善三郎さんは元氣に感謝の言

葉を述べました。

石川妙さん（水沢区字立町Ⅱは東京都渋谷区に生まれ、26歳のとき故・二郎さんと結婚。1男1女をもうけ、孫2人、ひ孫1人に恵まれました）。

戦後、市役所に勤め、福祉事務所や税務課などで60歳まで一生懸命働いたことが思い出と語ります。昨年は、白寿の記念に、自身の覚書を一冊の本にまとめました。若いころに東京に住んでいた妙さんが、関東大震災や二・二六事件で感じたことなどを詳しく綴っています。

元氣よく、丁寧な言葉遣いで話すのが印象的な妙さん。長寿の秘訣は、よく寝ることと話してくれました。



伊藤義明江刺総合支所長（右）から記念品を受け取る善三郎さん